

第 3 回 山梨県自転車活用推進計画策定委員会

平成31年 3 月18日(月)

第 2 回委員会での意見の対応資料



委員意見

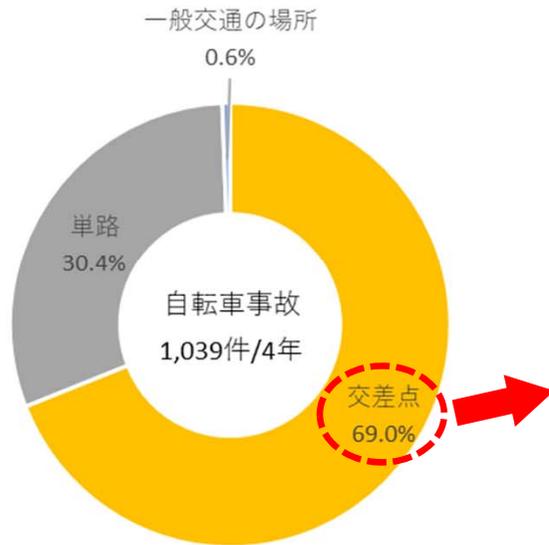
- ・ 交差点事故の発生状況

■ 山梨県内の国道・県道で発生した交差点での自転車事故は車両相互の事故がほとんどで、その内訳は半数以上が出会い頭の事故となっている。また、右左折時の事故も多い。

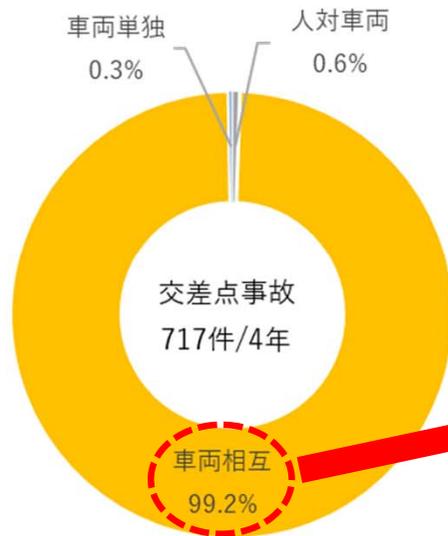
①自転車の交差点事故について

※データは国道及び県道のみ対象（市町村道等はデータベースに該当なし）

▼自転車事故における道路形状別の発生状況 (H24～H27) 【再掲】



▼自転車の交差点事故類型 (H24～H29)



▼交差点での車両相互事故内訳 (H24～H29)

事故内訳	発生件数
正面衝突・その他(追越・追抜時以外)	4
追突・進行中	3
追突・駐停車中	2
出会い頭	368
追越追抜時	5
後退時	4
すれ違い時	1
左折時	139
右折時・右折直進	90
右折時・その他	81
その他	14



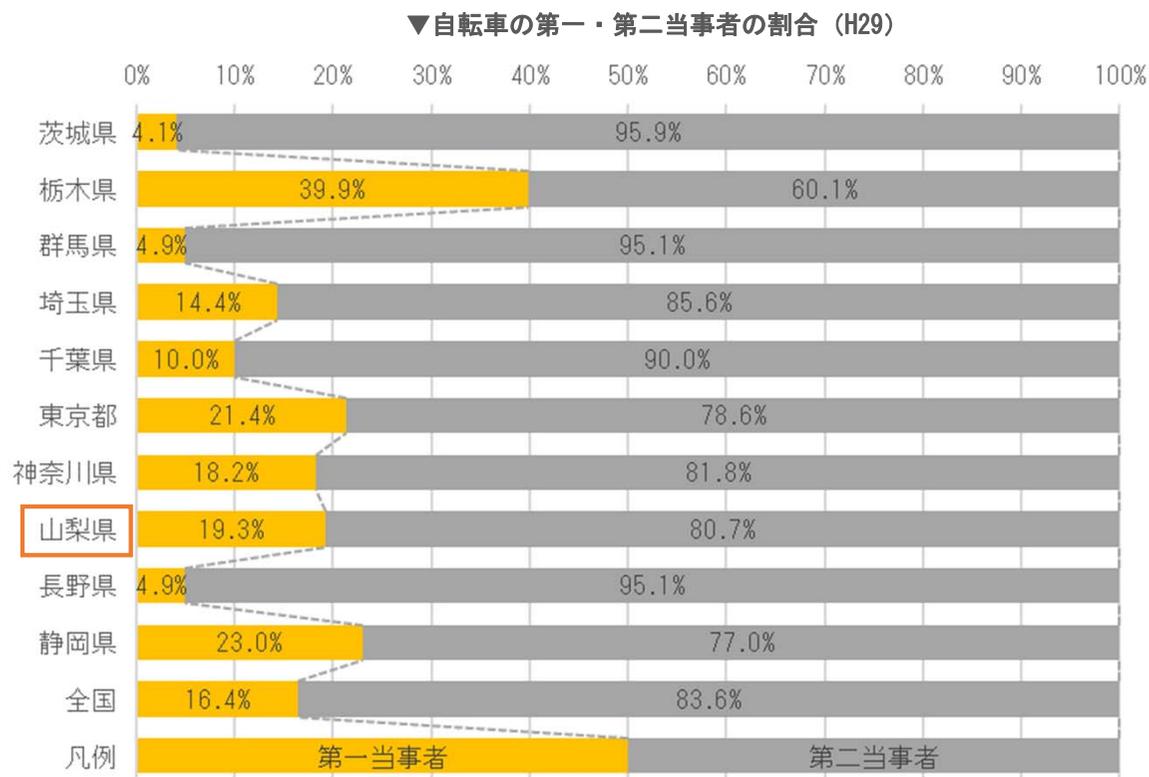
委員意見

- ・ 第一当事者が自転車となる事故

■ 山梨県内の国道・県道で発生した自転車事故で、自転車が第一当事者である割合は約19%となっており、全国および広域関東圏と比較して僅かに高い割合となっている。

②自転車事故の自転車の当事者種別割合

※データは国道及び県道のみ対象（市町村道等はデータベースに該当なし）





委員意見

・年齢別事故割合について、他県との比較ができれば特徴がつかめるのではないかと

- 第一当事者の年齢層別割合は全国に比べて0～15歳以下の割合が約2倍である。
- 第二当事者についても24歳以下の年齢層の割合が全国および広域関東圏に比べると高い。
- いずれの年代も交通安全への意識を高め、自転車事故総数を減らすことが重要である。

③自転車事故の自転車の年齢層別割合

※データは国道及び県道のみ対象（市町村道等はデータベースに該当なし）

▼自転車の第一当事者の年齢層別割合（H29）

▼自転車の第二当事者の年齢層別割合（H29）

